

甲武信ユネスコエコパーク展示パネル一覧

(サイズの単位はcm)

A

<p>地図 (W90×H60)</p>	<p>紹介① (W90×H60)</p> <p>ユネスコエコパーク (BR: Biosphere Reserve)</p> <ul style="list-style-type: none"> ユネスコエコパークは、正式な生物圏保存地域といひ、ユネスコによって国際的に認定された地域です。 ユネスコエコパークは、豊かな生態系や生物多様性を保全し、自然に学ぶとともに、文化的にも経済・社会的にも持続可能な発展を目指すモデルとなる地域です。 <世界自然遺産との違い> <ul style="list-style-type: none"> 世界自然遺産は、手つかずの自然を守ることが原則 ユネスコエコパークは、生態系の保全と持続可能な利用の調和(自然と人間社会の共生) ユネスコエコパークの3つの機能 <ul style="list-style-type: none"> 1 保全機能 (生物多様性の保全) <ul style="list-style-type: none"> 人間の干渉を最小限に抑え、生物多様性の保全と調和した持続可能な発展のモデルとなる地域を代表する生態系を含み、生物多様性の保全と共生が地域であること 2 学術的研究支援 <ul style="list-style-type: none"> 自然環境の保全と調和した持続可能な発展のモデルとなる地域を代表する生態系を含み、生物多様性の保全と共生が地域であること 3 経済と社会の発展 <ul style="list-style-type: none"> 自然環境の保全と調和した持続可能な発展のモデルとなる地域を代表する生態系を含み、生物多様性の保全と共生が地域であること ユネスコエコパークの3つのゾーニング <ul style="list-style-type: none"> 1 核心地域: 厳格に保護 長期的に保全 2 緩衝地域: 自然と調和した持続可能な発展を実現する地域 3 移行地域: 自然と調和した持続可能な発展を実現する地域 	<p>紹介② (W90×H60)</p> <p>国内ユネスコエコパーク</p> <p>日本のユネスコエコパークは以下の10ヶ所です(2020年(令和2年)10月現在)。それらの核心地域や緩衝地域は、国立・県立公園や国営自然公園として保全されています。</p> <p>1980年(昭和55年)登録 「大谷峠・大室山・大谷峠」(宮城県、三重県)</p> <p>2012年(平成24年)登録 「霧」(宮崎県)</p> <p>2014年(平成26年)登録 「月見」(福島県)、「新アムズ」(山形県、長野県、群馬県)</p> <p>2017年(平成29年)登録 「龍谷・龍・大野」(宮崎県、大分県)、「みなかみ」(群馬県、新潟県)</p> <p>2019年(令和元年)登録 「甲武信」(山梨県、埼玉県、長野県、東京都)</p>	<p>特徴 (W90×H60)</p> <p>甲武信ユネスコエコパークの特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊かな自然: 豊かな自然と、四季折々に咲く美しい花畑をつくり、清らかな水を流しています。 多様な生態系: 自然環境の保全と調和した持続可能な発展を実現する地域を代表する生態系を含み、生物多様性の保全と共生が地域であること。 山岳信仰・伝統芸能: 昔ながらの人々を継承する山岳信仰が盛ん、伝承され、山岳信仰にまつわる多様な文化が、今もなお残っています。 産業: 自然環境の保全と調和した持続可能な発展を実現する地域を代表する生態系を含み、生物多様性の保全と共生が地域であること。
----------------------------	---	--	--

B

<p>地図 (W120×H50)</p>	<p>紹介 (W120×H50)</p> <p>ユネスコエコパーク (BR: Biosphere Reserve)</p> <ul style="list-style-type: none"> ユネスコエコパークは、正式な生物圏保存地域といひ、ユネスコによって国際的に認定された地域です。 ユネスコエコパークは、豊かな生態系や生物多様性を保全し、自然に学ぶとともに、文化的にも経済・社会的にも持続可能な発展を目指すモデルとなる地域です。 <世界自然遺産との違い> <ul style="list-style-type: none"> 世界自然遺産は、手つかずの自然を守ることが原則 ユネスコエコパークは、生態系の保全と持続可能な利用の調和(自然と人間社会の共生) ユネスコエコパークの3つの機能 <ul style="list-style-type: none"> 1 保全機能 (生物多様性の保全) <ul style="list-style-type: none"> 人間の干渉を最小限に抑え、生物多様性の保全と調和した持続可能な発展のモデルとなる地域を代表する生態系を含み、生物多様性の保全と共生が地域であること 2 学術的研究支援 <ul style="list-style-type: none"> 自然環境の保全と調和した持続可能な発展のモデルとなる地域を代表する生態系を含み、生物多様性の保全と共生が地域であること 3 経済と社会の発展 <ul style="list-style-type: none"> 自然環境の保全と調和した持続可能な発展のモデルとなる地域を代表する生態系を含み、生物多様性の保全と共生が地域であること ユネスコエコパークの3つのゾーニング <ul style="list-style-type: none"> 1 核心地域: 厳格に保護 長期的に保全 2 緩衝地域: 自然と調和した持続可能な発展を実現する地域 3 移行地域: 自然と調和した持続可能な発展を実現する地域 	<p>山々・源流域 (W120×H50)</p> <p>エリア内の主な山々</p> <ul style="list-style-type: none"> 甲武信ヶ岳: 奥秩父主峰のほぼ中央に位置し、甲州(山梨県)・武州(埼玉県)・信州(長野県)の境に位置することからその名がつけられています。 ニリンソウやヤシオツツジの稀生なども群生され、日本百名山の一つに数えられています。 霧峰山: 日本百名山の一つに数えられ、東京都、埼玉県、山梨県の境界にあたり、東京都の最高峰としても有名です。 奥秩父山系の西側に位置し、奇峰を築く花崗岩の山で、古くから信仰の対象となっています。 <p>四大河の源流域</p> <ul style="list-style-type: none"> 荒川: 甲武信ヶ岳を源流とする荒川は、埼玉県秩父市から関東平野へと流れ、太平洋へと注ぎます。 利根川: 甲武信ヶ岳を源流とする利根川は、埼玉県秩父市から関東平野へと流れ、太平洋へと注ぎます。 荒川: 甲武信ヶ岳を源流とする荒川は、埼玉県秩父市から関東平野へと流れ、太平洋へと注ぎます。 利根川: 甲武信ヶ岳を源流とする利根川は、埼玉県秩父市から関東平野へと流れ、太平洋へと注ぎます。
-----------------------------	---	---

C

山々 (W50×H120)

エリア内の主な山々

核心

- 甲武信ヶ岳: 奥秩父主峰のほぼ中央に位置し、甲州(山梨県)・武州(埼玉県)・信州(長野県)の境に位置することからその名がつけられています。
- 霧峰山: 日本百名山の一つに数えられ、東京都、埼玉県、山梨県の境界にあたり、東京都の最高峰としても有名です。
- 奥秩父山系の西側に位置し、奇峰を築く花崗岩の山で、古くから信仰の対象となっています。

D

源流域 (W50×H120)

四大河の源流域

核心

- 荒川: 甲武信ヶ岳を源流とする荒川は、埼玉県秩父市から関東平野へと流れ、太平洋へと注ぎます。
- 利根川: 甲武信ヶ岳を源流とする利根川は、埼玉県秩父市から関東平野へと流れ、太平洋へと注ぎます。
- 荒川: 甲武信ヶ岳を源流とする荒川は、埼玉県秩父市から関東平野へと流れ、太平洋へと注ぎます。
- 利根川: 甲武信ヶ岳を源流とする利根川は、埼玉県秩父市から関東平野へと流れ、太平洋へと注ぎます。

E

生態系 (W50×H120)

多様な生態系

高山帯から山地帯まで幅広い多様な生態系が見られ、豊かな森林環境を反映して、国指定天然記念物のニホンカモシカやツツジマツなどの大型哺乳類、クマカサなどの昆虫など、多くの種が生息しています。また、石炭地帯に生息しているスズメバチは、好気性菌のキチンコウリンなど多様な菌類も生息しています。

- キチンコウリン: 石炭地帯の固有種として、石炭地帯を好むキチンコウリン。
- アズマシヤクナグ: 日本の分布範囲にあたるアズマシヤクナグ群。
- チチノワザクラ: 石炭地帯に自生する特異な種であるチチノワザクラ。
- ミヤマカシノリ: 石炭地帯に自生する特異な種であるミヤマカシノリ。
- ヒカリゴケ: 山梨県の天然記念物に指定されているヒカリゴケなどのコケ類。
- ニホンカモシカ: ニホンカモシカなどの大型哺乳類。
- クマカサ: クマカサやオオカサなどの希少な猛禽類。
- キヌビロドクマイマイ: キヌビロドクマイマイなど50種を超える陸生貝類。
- ヒメシロシヤクナグ: 分布範囲にあたるヒメシロシヤクナグ。
- ハコネサンショウウオ: 標高500m以上を中心に生息するハコネサンショウウオ。

F

特産品 (W50×H120)

地域資源を活かした特産品

地域資源を活用した農産物や加工品の生産が各地で行われています。

- ぶどう(甲州市、山梨市)
- もも(山梨市)
- ワイン(甲州市、甲斐市、甲斐市)
- 松露(甲州市)
- 流石ダイコン(北杜市)
- 高野野良栽培(川上村)
- ワサビ田(小菅村)
- 秩父製粉(秩父市)
- きびこ(小菅村)
- ジビエ(丹波山村)

G

環境活動 (W50×H120)

住民参加の環境活動

地域住民が参加する自然環境保全の取り組みが各地で行われています。

- 乙女賞花ファンクラブ(山梨県)**: 山梨市・山梨県・企業等と協働で遊歩道づくりや草刈りボランティアなど生物多様性の保全活動を行うとともに、スミレ観察会やマルバツバネなど種多様な環境教育の活動を行っています。
- 水田耕種者の会(甲斐市)**: 甲斐市では、市民との協働による水田づくりとして毎年6月初旬に「水田耕種者の会」を実施しています。
- 秩父づくりの会(秩父市)**: 関係機関の協力を得て、荒川流域における都市住民との交流などのイベントを実施して、清流の自然の大切さを伝えています。